

対人援助学会 第15回年次大会 広島大会のお知らせ（第2号通信）

【大会概要】

日 程：2023年11月11日（土）～12日（日）

テーマ：「対人援助の多様性と持続可能性」

私たちが関わる「対人援助」という分野は、これまで主に福祉や医療・心理・教育といったものが中心としてイメージされてきた。しかし近年そのあり方は、当学会の対人援助学研究や対人援助学マガジンにも見られるように多様化してきている。また、昨今語られることの多い持続可能性というキーワードは、バーンアウトの問題や担い手不足など、対人援助分野でも重要なテーマである。

今大会の開催地・広島は、被爆地ヒロシマとして反核平和の象徴という命題を持ち、戦後70年を超えてその活動を多様に発展・進化させているが、一方で人口減少や高齢化に直面する一地方都市として、地域社会の持続可能性という課題に向き合う側面も持っている。

こうしたことからここ広島で、人への援助や平和な社会の「多様性」や「持続可能性」について考え、対話を深めていくことは、私たちの今後の実践にもつながる意義深いことと思われる。

たくさんの多様な個性と、豊かで自由に語らえる大会にしたいと願っている。

会 場：比治山大学6号館（広島市東区牛田新町4丁目1-1）

（アクセス：[アクセス](#) | [比治山大学](#) | [比治山大学 比治山大学短期大学部 \(hijiyama-u.ac.jp\)](#)）

後 援：広島市、広島市教育委員会

※ 次の場合には大会を中止又は延期しますので、参加者にメール等でお知らせします。①特別警報の発令等により、広島市が会場校の所在地（東区牛田新町学区）に避難指示を発令した場合（暴風雨、水害、地震等の危険が差し迫っている状態）。②その他の不測の事態等、緊急事態の発生時。

【参加申込方法】

- こちらの「[参加申込フォーム](#)」より、11月2日（木）までにお申込みください。
- 参加費：一般3000円 学会員2000円 学生・院生（社会人院生を除く）500円
- 参加費は11月2日（木）までに、以下振込先へ納付願います。
- 振込先：ゆうちょ銀行 ○九九（ゼロキュウキュウ）店 当座：0311452 名義：対人援助学会

※社会人院生とは正社員勤務のかたわら大学院に在籍する者（学会員か一般区分での参加となります）

※お振込の際、必ず参加申込フォームに書かれたお名前での振込みをお願いいたします。

【第15回年次大会プログラム概要】(時間・内容は予定であり、変更することがあります)

(1) 11月11日(土) 午前

① 9:30～11:30 オプションツアー 「被爆樹木を巡るフィールドワーク」

企画者 来須万季(広島市児童相談所)、谷田寿幸(TAN 学校教育相談所)

初の広島開催を記念して、学会本体とは別に特別なオプションツアーを企画します。

原爆投下を生きぬいた木・被爆樹木が日常の景色に存在する広島。長年市民によって守られてきた被爆樹木たちが、そこで何を見て、どんな人々の想いを受け止めてきたのか。被爆樹木という「人ならぬもの」を通して見えてくる、被爆と戦後の実相を学び感じるツアー。先着15名限定。別途参加費(1000～2000円程度の予定)。ご希望の方はお早めにお申し込みください。

(2) 11月11日(土) 午後

① 12:00～12:30 大会受付

② 12:00～18:00 ポスターセッション

団士郎「木陰の物語」パネル漫画展

(どちらも時間中はいつでも掲示内容をご覧ください)

③ 12:45～14:30 記念講演 「私が被爆者から受け取ったもの —それぞれの『物語』を通して—」

被爆者が語り部となる。核廃絶運動に関わる一。そこには様々な困難と出会い、絶望と希望の『物語』がある。長年被爆者と活動を共にしてきた講師が、その『物語』を通して学んだことから、人が支え合うこと、他者を理解すること、そして今、私たちが分断や虚無と立ち向かう術について語る。

講師 渡部朋子(わたなべ・ともこ)



特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 理事長。

1953年広島生まれ。被爆2世。法律事務所勤務の傍ら、1989年にANT-Hiroshimaを設立。アフガニスタンの難民支援やパキスタンの地震復興支援活動のほか、市民や子どもたち、海外研修生などを対象とした国際理解や平和教育を行い、独自の平和構築活動を実践。2022年「谷本清平和賞」受賞。元広島市教育委員会委員、公益財団法人 広島平和文化センター理事ほか。

④ 14:40～16:20 理事会企画I 「つながりと対話の場づくり ～ハチドリ舎の実践～」

発表者 安彦恵里香(ハチドリ舎)、梶原慶(オトナコドモシステムズ)、岡崎正明(広島市児童相談所)

誰もが気軽に社会課題について語り合える場「Social Book Cafe ハチドリ舎」の実践から、対人援助の多様な展開や、社会課題との関係、つながることで生まれる新たな可能性について考える。

⑤ 16:30～18:00 企画ワークショップ1 ※学会員から企画を公募して開催します。

(3) 11月12日(日)

- ① 9:00～15:00 ポスターセッション
 団士郎「木陰の物語」パネル漫画展
 (どちらも時間中はいつでも掲示内容をご覧ください)
- ② 9:00～10:30 ポスターセッション質疑応答時間
 誰でも調子に乗れる「書道対話」ミニ体験会
- ③ 10:40～12:10 理事会企画Ⅱ
 「保育関係者による当事者研究 ―保育現場の『しんどさ』等をめぐって―」

発表者 迫共(比治山大学)、西川友理(大和大学白鳳短期大学部)、南部紀子(かわさき保育園)

各分野で応用される当事者研究だが、保育分野で広がらない。「弱い自分をあらわにすることへの抵抗」など、保育者自身の生々しい語りを排除する職場文化が、その背景にあると思われる。保育現場の「しんどさ」や「楽しさ」を自覚的に語り、保育実践の広く豊かな意義を考えたい。

- ④ 12:10～13:10 昼休憩
- ⑤ 13:10～14:40 企画ワークショップ2 ※学会員から企画を公募して開催します。
- ⑥ 14:50～15:40 全体会

【募集】

(1) 企画ワークショップ(2～4件程度)

- 企画ワークショップを以下のとおり募集します。発表者は申込及び抄録の提出が必要となります。申込多数となった場合は理事会で選考させていただきます。なお倫理面等の配慮に欠けるとと思われる企画については、発表をお断りすることがあります。ご了承ください。
- 申込方法：下記の内容を年次大会事務局宛に [メール](#) でお送りください(抄録も同宛先)。
 - 主発表者(学会員に限る)、連名発表者、所属先
 - タイトル
 - 企画概要(800字程度)
 - 希望時間枠(プログラム概要から、企画ワークショップ1か2のいずれかの時間を選択)
- 申込締め切り：2023年9月30日(土)
- 抄録提出期限：2023年10月11日(水)(書式はホームページよりダウンロードしてください)

(2) ポスターセッション(20件程度)

- ポスターセッション発表者を以下のとおり募集します。申込多数となった場合は理事会で選考させていただきます場合があります。なお倫理面等の配慮に欠けるとと思われる研究については、発表をお断りすることがあります。ご了承ください。
- 申込方法：下記の内容を年次大会事務局宛に [メール](#) でお送りください。

- 主発表者（学会員に限る）、連名発表者、所属先
- タイトル
- 抄録（書式はホームページよりダウンロードしてください）
- ポスターセッション質疑応答時間（在席責任時間）は、11月12日（日）9:00～10:30です。参加者からの質疑応答に応じていただくことで、正式発表となります。主発表者または連名発表者での対応をお願いします。
- ポスターの掲示スペースは、目安として「A4横置き」で18枚程度です。
- ポスターの最上部に題目、名前（筆頭発表者に○を付けてください）、および所属を明示してください。
- 著作権確認書の提出は必要ございません。ただし、著作権の帰属を承諾の上、お申込みください。対人援助学会では、抄録原稿を提出された時点で承諾したものとして処理しますのでご了解ください。提出される論文の著作権に関し、複製権・公衆送信権等の財産的権利はすべて対人援助学会に帰属することを併せてご了解ください。
- 申込締め切り及び抄録提出期限：2023年10月11日（水）

広島大会実行委員会共同代表 岡崎正明、迫共